

こちらあみ子

Amiko

2022年 / カラー / 104分 / DCP

監督・脚本: 森井勇佑 原作: 今村夏子(「こちらあみ子」ちくま文庫)
音楽: 青葉市子 出演: 大沢一菜、井浦新、尾野真千子



「あみ子、あみ子、あみ子」あみ子の私が呼んでる。



次世代
シネマセレクション

これからの時代を担う気鋭の若手監督の作品をご紹介します。次世代シネマセレクション。今回は、森井勇佑監督の『こちらあみ子』を上映いたします。20代で原作に出会い心を打たれた森井監督が、原作の世界観を失くすことなく真っ直ぐな眼差しで捉えた本作。助監督として様々な監督のもとで研鑽を積んだ、森井監督の劇場デビュー作でもあります。ぜひお楽しみください。

STORY

応答せよ、応答せよ。こちらあみ子、こちらあみ子——。少し風変わりな小学5年生のあみ子が、いつしか家族や同級生など周囲の人間を変えていく。原作は、芥川賞受賞作家である今村夏子の「こちらあみ子」。親しみのある文体でありながら何気ない日常に鋭く切り込んだ原作を、無垢なあみ子を通して魅力溢れる映像描写で映画化。

SCREENING SCHEDULE

3月21日(火・祝)

10:30 / ● 14:00 +アフタートーク
ゲスト 森井勇佑監督

3月22日(水)

10:30 / 14:00



もりい ゆうすけ
森井 勇佑 監督

1985年生まれ、兵庫県出身。日本映画学校映像学科(現:日本映画大学)を卒業後、映画学校の講師であった長崎俊一監督の『西の魔女が死んだ』(2008)で、演出部として映画業界に入る。以降、大森立嗣監督をはじめ、日本映画界を牽引する監督たちの現場で助監督を務めてきた。本作『こちらあみ子』(2022)で映画監督デビューを果たす。

TICKET

チケット発売開始日 3月1日(水) | 映画鑑賞料金(展示観覧料含む)
一般 1000円 小・中学生 500円

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。
※入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12
TEL: 0467-23-2500
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日(5月1日は開館)
主催:川喜多・KBSグループ【鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者】
※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



Kamakura City Kawakita Film Museum
<https://kamakura-kawakita.org>